

挑む!

中学駅伝5連覇中の陸上部顧問

片山 典子さん(33)

選手ファースト 楽しく走ろう



朝練で汗を流す生徒たちを見ながら、放課後の練習メニューを考えるのが日課だ。手には部員が毎朝提出する男女33人分の練習日誌。ノートに書いてあることや実際の動きを見ることが、疲労度を把握し、一人ひとりに合ったメニューを組む。大事にしているのは、対話と「選手ファースト」。

陸上部の顧問を務める京都市立桂中は、全国中学校駅伝大会の女子で5連覇中だ。昨年12月の大会では、史上初の男女アベック優勝も遂げた。「生徒

の頑張りが結果に表れてくれた」
自身も陸上の選手だったが、専門は短距離。2013年春に桂中へ赴任して長距離に重点を置くようになると、近隣中学に通って顧問らに指導を仰いだ。距離やタイムなど数字を意識させることで、個々の目標を明確にした。

練習は厳しいのかと思いきや、そうではない。和気あいあいとしていて、笑顔が絶えない。大会3日前でも気分転換にサッカーやバスケットボールをすることもあるという。「同じ練習では飽きてしまう。走るのを楽しいと感じてもらい、成功体験へとつなげるのが私の役割だと思っている」

赴任後に初めて女子が優勝した3年生は今、19歳になる学年。アジア大会に出場した教え子もいる。「この校庭で育った子がいつか五輪で活躍してくれたら」

文・写真 辻隆徳

記者から

楽しそうな生徒の笑顔がとにかく印象的。のびのび練習させるのが成長につながるのだろう。